

ARSC NEWS

The Newsletter of the Applied Regional Science Conference

応用地域学会ニュースレター（日本語版）, No.67, July 2008

ARSC 事務局：〒162-0485 東京都新宿区市ヶ谷本村町 2-9

（財）計量計画研究所

応用地域学会事務局 文部科学省学会コード = 10023

会長：小林潔司 担当：宮本成雄

TEL: (03)3268-9692

FAX: (03)3268-9919

E-mail: clerk@arsc.org

主要項目： 運営委員選挙の結果
運営幹事等役員の選任
第 22 回研究発表大会のご案内
2007 年度学会決算
2008 年度第一回運営委員会の概要
事務局だより

1. 運営委員選挙の結果

ARSC 選挙管理委員上田孝行、浅田義久

2008-2009 年度 ARSC 運営委員選挙は、2008 年 3 月 25 日締め切りで実施されました。以下の方々が選出されましたのでご報告いたします。（東西地区の区分けは、2008 年 3 月時点の職場を基準にしています。）

応用地域学会 2008～2009 年度運営委員（敬称略順不同）

東地区：奥村誠、上田孝行、金本良嗣、安藤朝夫、城所幸弘、瀬古美喜、

（10 名） 須田昌弥、河野達仁、赤松隆、山崎福寿

西地区：文世一、中村良平、藤田昌久、小池淳司、松澤俊雄、佐藤泰裕、

（10 名） 曾道智、森知也、衣笠達夫、山本和博

国外：該当無

（0 名）

（以上 20 名）

2. 運営幹事等役員の選任

新しい運営委員のもと、運営委員会が6月5日に開催され、以下のように新しく運営幹事等の役員、委員会委員等が選任、又は任命されました。(敬称略・順不同)

(1) 運営幹事(2008～2009年度)

- ・総務 文 世一(京都大学)
- ・渉外 金本良嗣(東京大学)
- ・会計 衣笠達夫(追手門学院大学)

(2) 監査委員(2008年度)

- ・河野達仁(東北大学)、羽藤英二(東京大学)
- (2007年度に引き続き)

(3) 選挙管理委員

- ・城所幸弘(政策研究大学院大学)、瀬古美喜(慶応大学)

(4) 名簿編集委員

- ・柏谷増男(愛媛大学)、奥村誠(東北大学)、上田孝行(東京大学)

(5) 2008年度大会(釧路公立大学)プログラム編集委員

- ・委員長 山崎福寿(上智大学)
- ・委員 須田昌弥(青山学院大学)、赤松隆(東北大学)、
内藤(釧路公立大学)

(5) 2008年度坂下賞選考委員会

- ・委員長 岡部篤行(東京大学)
- ・委員 藤田昌久(甲南大学)、金本良嗣(東京大学)
小林潔司(ARSC会長)、田淵隆俊(ARSC副会長)

(2008年度は、佐々木公明先生が退任。運営委員会で、金本良嗣先生を委員に選任した上で、委員長に岡部篤行先生を指名)

3. 第 22 回研究発表大会のご案内

第 22 回研究発表大会実行委員長 小磯修二

2008 年度大会は、釧路公立大学（北海道）において、下記要領で開催いたします。例年にも増して活発な発表と討論を期待しております。発表の受付を開始いたします。積極的にエントリーしていただきますようご案内申し上げます。

なお、例年より 1 ヶ月早い開催となりますので、早めにご準備いただきたいと思っております。

(1) 大会概要

期 日 2008 年 11 月 15 日（土） 16 日（日）

会 場 釧路公立大学キャンパス

〒085-8585 北海道釧路市芦野 4 丁目 1 1

アクセスについては下記ホームページをご覧ください。

<http://www.kushiro-pu.ac.jp/others/map.html>

参加費 会員は無料、非会員は 3,000 円

(2) 発表申込

発表者の条件 ARSC 会員であること

非会員の場合は大会までに入会手続きを行ってください。

記載事項（A4 判 1 枚以内）

a. 発表者氏名・所属

b. 連名者氏名・所属

c. 発表者連絡先 住所、tel、fax、E-mail アドレス

d. 発表題目（和・英の両方）

e. 要旨（和文 200 字、英語 100 語程度。できるだけ両方を記載）

f. 発表時の使用言語（日本語または英語）

g. 希望討論者（候補者 2 名まで）

候補者の方に事前に打診される必要はありません。プログラム編成や討論者のご都合によってはご希望に添えないことがあります。あらかじめご了承ください。

h. 発表区分（「一般セッション」「Early Bird セッション」「特定セッション」「シンクタンク・セッション」の区分を記入。次項(3)を参照）

申込方法 E-mail（郵便または fax でも可）

申込先 E-mail arsc2008@kushiro-pu.ac.jp

郵便 〒085-8585 北海道釧路市芦野 4 丁目 1 1

釧路公立大学 内藤研究室

電話・Fax 0154 - 37 - 5519

申込期限 2008年8月16日(金)必着

(3) セッション構成と企画の募集

- ・例年どおり下記セッションを開催いたします。「特定セッション」と「シンクタンク・セッション」については、広く会員各位からの企画提案を募集しています。
- ・ 2008年8月16日(金)までに企画提案をお送りください (送り先は上記申込先と同じです。書式は問いません)。

一般セッション	<ul style="list-style-type: none">・幅広い論題でのセッションです。下記のキーワード(事例)に限定することなく、ARSCにとって関連のある論題を積極的にご報告ください。《地域問題》成長と衰退、地域格差、産業構造、雇用・人口、地方分権、地方交付税、国土計画《都市問題》都市空間、土地利用、都市集積、外部経済、住宅立地、都市化、都市財政《交通》都市交通、混雑税、TDM、航空・港湾、投資評価、物流、通信《環境》影響評価、環境税、水質・大気汚染、地球環境、電力、資源管理、防災《国際問題》開発援助、直接投資、通貨問題、貿易・関税
Early Birdセッション	<ul style="list-style-type: none">・博士論文等を執筆している若手研究者や大学院在籍中の学生会員が単著で申し込んだ発表から構成されます。・ARSCの将来を担う若手研究者による積極的な報告を期待しています。
特定セッション	<ul style="list-style-type: none">・特定の論題を重点的に議論するためのセッションです。論点や方法論、対象が共通する論文数編から構成されます(以前にはGIS、ロードプライシングなどの論題が取り上げられました)。・このセッションの企画を募集しております。オーガナイザーを務めていただける方々からの積極的な応募をお願いいたします。
シンクタンク・セッション	<ul style="list-style-type: none">・ARSCは、会員による研究成果を実務へ活用するとともに、実務の中で発見された様々な問題を新たな研究課題として会員に紹介するという双方向の展開が重要であるという共通認識に立っています。・このセッションは、会員の中で特に計画、政策立案、それに関連する調査等の実務に携わっている方々からの報告や問題提起をもとに構成されます。・賛助会員の方々をはじめ、実務関係者の方々からの<u>企画提案をお待ちしております</u>。

(4) 今後の予定

大会プログラム

- ・9月20日ごろに確定し、ARSCのホームページとニュースレターを通じてお知らせいたします。

発表原稿

- ・最終の発表原稿を 10月18日(金)までに座長、討論者、大会事務局の3か所にそれぞれ個別にお送りください。

E-mail に添付して送られる場合は、必ず PDF 形式にしてください。ファイルが重たくなって関係先にご迷惑をおかけすることがあります。

座長、討論者の連絡先が分からないときは、大会事務局にお問い合わせください。

(5) 2008 年大会実行組織

(敬称略)

大会実行委員会	委員長 小磯修二 委員 内藤 徹 委員 秋山修一 委員 下山 朗	釧路公立大学学長 釧路公立大学経済学部 釧路公立大学経済学部 釧路公立大学経済学部
プログラム委員会	委員長 山崎福寿 委員 赤松 隆 委員 須田昌弥 委員 内藤 徹	上智大学 東北大学 青山学院大学 釧路公立大学
大会事務局・ お問い合わせ	〒085-8585 北海道釧路市芦野 4 丁目 1 1 釧路公立大学 内藤研究室 電話・Fax ; 0154-37-5519 Eメール ; arsc2008@kushiro-pu.ac.jp	

4 . ARSC 北京大会の開催について

ARSC 北京大会は、昨年に引き続き、第 2 回応用地域学に関する日中共同セミナーとして、2008 年 10 月 18 日(土)、19 日(日)の 2 日間、中国北京 北京大学で開催する予定であります(中国地域学会と調整中)。詳細等は、確定次第、お知らせいたします。

5 . 2007 年度学会決算

事務局 担当：宮本成雄(計量計画研究所)

2007 年度学会決算を以下のようにご報告いたします。監査委員による監査後、本年度大会での総会にて会員の皆様への報告がなされ、最終承認される予定です。なお監査委員は、昨年に引き続き、河野達仁(東北大学)及び羽藤英二(東京大学)の両先生をお願いすることになりました(前掲)。

(決算書は、2006 年度決算、2007 年度予算、決算を並べてあります。)

2007 年度決算では、科研費補助がなくなりましたが、RURDS 刊行は、関係者のご努力により例年通りに進められています。

なお、年度末決算における繰越金は、2005 年度まで増加してきましたが、会員サービスの向

上などに有効活用していくものとして、大会参加費の無料化、日中共同セミナーの開催などの費用として繰越金を減らしてきています。今後、運営委員会において、適正な繰越金の水準をどうするか、会員サービスの向上などに対する議論をさらに続けていくことになりました。

応用地域学会2007年度決算書 (2008年3月31日)

収入の部	2006年度決算		2007年度予算		2007年度決算	
	円貨	ドル貨	円貨	ドル貨	円貨	ドル貨
1.繰越金	9,150,418	0.00	8,087,817	0.00	8,087,817	0.00
2.個人会費収入	3,818,945	0.00	4,400,000	1,800.00	4,002,334	0.00
3. RSAI会費	197,800	0.00	270,940	0.00	189,200	0.00
4.賛助会費収入	900,000	0.00	1,200,000	0.00	1,000,000	0.00
5.補助金(科学研究費補助)	1,600,000	0.00	1,800,000	0.00	0	0.00
6.大会参加費収入	719,000	0.00	60,000	0.00	823,412	0.00
(年次大会)	489,000			0.00	445,000	0.00
(中国大会)	230,000			0.00	378,412	0.00
7.大会開催寄付金	0	0.00		0.00	400,000	0.00
8.利子収入	3,269	0.00	0	0.00	8,667	0.00
9.雑誌販売(Back Number)	37,870	0.00	0	0.00	55,450	0.00
10.その他	0	0.00	0	0.00	0	0.00
収入合計	16,427,302	0.00	15,818,757	1,800.00	14,566,880	0.00
(繰越金を除く収入合計)	7,276,884		7,730,940		6,479,063	
			7,853,940			

支出の部	2006年度決算		2007年度予算		2007年度決算	
	円貨	ドル貨	円貨	ドル貨	円貨	ドル貨
1. RUDS刊行費	4,282,752	0.00	4,800,000	0.00	2,652,583	0.00
(編集印刷経費)	1,600,000	0.00	1,800,000	0.00	0	0.00
(刊行・発送費)	2,682,752	0.00	3,000,000	0.00	2,652,583	0.00
2.年報刊行費	1,019,327	0.00	1,000,000	0.00	1,155,339	0.00
3.大会開催費	1,621,696	0.00	650,000	0.00	2,017,762	0.00
(年次大会)	939,000				1,139,350	0.00
(中国大会)	682,696				878,412	0.00
4. RAIへの送金	296,682	0.00	270,940	0.00	333,683	0.00
5.坂下賞	121,200	0.00	121,000	0.00	121,000	0.00
6.名簿印刷費	0	0.00	50,000	0.00	0	0.00
7.ニュースレター等印刷費	95,130	0.00	100,000	0.00	114,450	0.00
8.一般事務費	302,698	0.00	200,000	0.00	268,313	0.00
(郵送費)	182,140	0.00	150,000	0.00	133,840	0.00
(消耗品等)	2,398	0.00	30,000	0.00	22,488	0.00
(謝金等)	97,460	0.00	0	0.00	100,680	0.00
(銀行手数料)	20,700	0.00	20,000	0.00	11,305	0.00
9.事務局費	600,000	0.00	600,000	0.00	600,000	0.00
10.予備費	0	0.00	50,000	0.00	0	0.00
支出合計	8,339,485	0.00	7,841,940	0.00	7,263,130	0.00
繰越金	8,087,817	0.00	7,976,817	1,800.00	7,303,750	0.00
ドル貨円換算(手数料を除く)	0		123,000		0	
繰越金合計	8,087,817		8,099,817		7,303,750	

注;2001年度よりドル口座を廃止。海外会員の会費は、円に換金して円口座に入金。

8 . 2008 年度第一回運営委員会報告（概要）

事務局担当：宮本成雄((財)計量計画研究所)

2008 年度第一回運営委員会が 6 月 5 日(木)に行われました。議事録の詳細が必要な方は事務局までお知らせ下さい。以下に、議事の要点をご紹介します。

- ・ 運営委員選挙結果報告(前掲)
- ・ 運営幹事等選任（前掲）
- ・ 決算報告（前掲）
- ・ 2008 年度研究発表大会の開催について（前掲）
- ・ ARSC 北京大会の開催について(前掲)
- ・ 会員名簿発行について

現在の名簿編集小委員会(前掲)のもと、具体的に作業を進めていくことが確認されました。

- ・ 坂下賞について

坂下賞選考委員会は、規約により、佐々木公明先生(尚絅学院大学)が退任し、前掲のように 2008 年度の新しい委員に金本良嗣先生（東京大学）を選任し、委員長には岡部篤行先生(東京大学)が指名されました。新しいメンバーのもと、2008 年度の坂下賞受賞者が選考されます。

- ・ RURDS 出版関係

土井正幸 RURDS 編集委員長からの報告の紹介があり、RURDS への若手の投稿が増加していること、電子ジャーナルへのアクセスが大きく増大していることが報告されました。

また、今後、RURDS の編集方針、体制等に対しての議論もしていくことが確認されました。

- ・ 応用地域学研究出版関係

応用地域学研究に関し、中村良平編集委員長からの第 13 号の編集状況の報告の紹介がありました。

バックナンバーの WEB 化は、引き続き、順次続けていくことが確認されました。

- ・ ARSC ホームページ関係

ARSC ホームページ担当の矢澤則彦先生(東京国際大学)より、ホームページの更新が進んだこと、RURDS 電子ジャーナルへのアクセス方法が一部変更され、さらに、2008 年 7 月 1 日からは、Blackwell 社から Wiley 社の InterScience プラットホームに移行されるとのこの報告が紹介されました。この移行に関しては、再登録・アクセスなどの変更が予定されており、詳細は、確認でき次第お知らせします。

また、ホームページの管理担当は、大橋忠弘先生(弘前大学)に移行されること、

今後、ホームページ掲載情報の更新管理についての対応の仕方については、さらに議論し、つめていくことが確認されました。

9. 事務局だより

事務局 宮本成雄

ARSC 会員現勢

2008年6月26日現在の会員数(昨年度総会以降の入退会者を含む)は以下の通りです。

個人会員 435名(内、一般会員 382名、学生会員 44名、海外会員 9名)

賛助会員 12団体(総口数 18口)。

地域科学に関連する分野の研究に興味を持たれている個人または団体が周囲に居られましたら、是非入会をお勧め頂くようお願い致します。個人会員用の入会申込書はARSCのホームページ(<http://www.arsc.org/>)より入手可能です。また、E-mailによるお申し込みも受け付けておりますので、記入事項をARSCホームページにてご確認の上、必要事項を記入して clerk@arsc.org 宛て E-mailでお申し込み下さい。

事務局やニューズレター等に対しまして、ご意見や新しい企画等ございましたら、お知らせいただきたいと思っております。